

マッチ工場の少女 (1990)

THE MATCH FACTORY GIRL
TULITIKKUTEHTAAN TYTTO

メディア 映画

ジャンル コメディ ドラマ

製作国 フィンランド

色彩 Color

時間 70分

初公開日 1991/03/01

公開情報 アルシネテラン

【キャッチコピー】

ふしあわせな、あたし。

【解説】

マッチ工場で働く少女イリスは、裏通りの狭いアパートに母と義父と同居していた。ある日イリスは、貰ったばかりの給料で派手なドレスを衝動買いする。家で給料袋を待ち構えていた義父には殴られ、母には返品を命じられたイリスだったが、従わずにそのドレスを着てディスコに行った。そしてそこで出会った男にチーク・ダンスに誘われ、そのまま彼の家で一夜を過ごす……。アキ・カウリスマキはその殆どの作品が大変クセのあるものが多く、観客の合う合わないがハッキリ別れる監督だが、そのテーマには常に普遍的なものがある。それは、彼の作品はいつも私たちの側——無産階級の者達の淡い夢とささやかな反抗を描いているという点だ。本作でも監督は、世間から疎外され傷つけられた娘の反抗を決して悪びれることなく、むしろ至福の時を謳歌するかの様に描いている。またこの監督はいつもそうである様に、登場人物は極度に寡黙であり、音楽や歌が重要な要素となっている。

【クレジット】

監督	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki
製作	クラウス・ヘイデマン ヤーコ・タラスキビ	
	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki
製作総指揮	クラス・オロフソン カティンカ・ファラゴ	Katinka Farag
脚本	アキ・カウリスマキ	Aki Kaurismaki
撮影	ティモ・サルミネン	Timo Salminen
音楽	レイヨ・タイパレ	Reijo Taipale
出演	カティ・オウティネン エリナ・サロ エスコ・ニッカリ ヴェサ・ヴィエリッコ シル・セッパラ レイヨ・タイパレ	Kati Outinen Elina Salo Esko Nikkai Vesa Vierikko Silu Seppala Reijo Taipale